

## アコヤガイの貝掃除

前回ご紹介したとおり、本年度から「三浦真珠プロジェクト」の一環としてアコヤガイの管理などを授業で本格的に取り入れることとなりました。目標は三浦真珠をつくり、三浦半島の活性化につなげていくこと！そして、そのために必要な技術・知識を学ぶため、生物系列の3年生8名は、東京大学や小網代にあるNPOの指導を受けています。

まず4月からの実習として、2~3才のアコヤガイの掃除をしています。作業は月に1~2回、小網代にある筏（いかだ）に吊るされているアコヤガイに付着した生き物、ホヤ・イガイ・カキ・ゴカイの仲間などを特製のナタで落としていきます。力加減が難しく、強すぎるとアコヤガイを傷つけてしまうし、弱いと付着生物が取れません・・・掃除するアコヤガイの数も多いことから、単調で疲れる作業を時には1日かかりで行っている生徒たち。「疲れたー」と叫ぶこともあります。付着生物を取り除き、ストレスがなく、健康的なアコヤガイを育てないと、きれいな真珠はできません。何事も出来上がるまでには、手間と時間がかかることを身に染みて感じている生徒たちでした。



写真1. 掃除の様子  
ナタを使って付着生物を取り除きます。



写真2. 掃除前と後のアコヤ  
(奥：掃除前、手前：掃除後)



写真3. 海へ戻るアコヤ  
掃除を終えたアコヤはカゴに入れて海へ戻します。